

1.評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 教育・保育理念について	<p>・園の保育目標に向かって全職員が取り組んでいる。また、子どもの姿や発達状況に応じた指導計画になるようには努めているが、まだまだ不十分などところがある。今後もPDCAサイクルを活用したカリキュラムマネジメントの実施に向けて、園内研修等で検討していきたい。</p>
② 子どもの発達援助	<p>*最もふさわしい生活の場</p> <p>一人一人の子どもを大切に安心した環境の中で生活できるように心がけている。</p> <p>一人一人を観察し、スキンシップを常に心がけてはいるが、命令や禁止が多かったり、行動を急がせるような態度や言葉をできるだけ控えるように、保育に見通しを持ち、保育環境として場や時間の工夫を心がけていきたい。</p> <p>*保育環境</p> <p>保育・教育は、「環境を通して行う」ことの重要性を職員間でも認識しており、室内外の環境や主体的に活動できる場の設定には心がけたが、十分とはいえない。また、知的好奇心を高めるような保育環境についても研修を深めたい。</p> <p>*保育内容</p> <p>「めざす子ども像」をめざし、日々の保育・教育活動の中で子どもの育ちを促すかわりを工夫している。</p> <p>*明るく元気な子ども*</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣については、個々の状況に合わせて家庭と連携をとることを心がけた。また、家庭の実態把握として学園と共同の取り組みを行い、機会あるごとに情報に提供や相談体制を作っていた。 ・発達段階に応じた多様な動きを取り入れた遊びや体を動かすことを楽しいと思える取り組みにも力をいれた。また、異年齢や友だちと一緒に楽しい、一緒だからできたと思えるつながりを意識した運動も取り入れた。 ・食育活動では、菜園で収穫したものを利用してのクッキング活動などは十分ではなかった。生野菜の扱いも衛生面で厳しい状況である。 ・戸外遊びの充実には努めたが、場や時間の確保が十分ではなかったと反省している。

<p>③ 保護者に対する支援</p>	<p>*仲良くつながるこども*</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の活動を適宜設定したり、行事の中に組み込んで遊びの中で互いに交流したり、かかわり合えるような場を設定することができた。 ・「あいさつ」は課題が残る。いつでも、どこでもと言うわけにはいかなかった。保育者が自ら子どもたちの手本となり、あいさつや感謝の言葉は人と人の心をつなぐ素敵なスキルであること、気持ちよく朝のスタートが出来るようにしていきたい。 ・トラブルの場面では、まずは子どもの心の思いに寄り添い、自分の思いを言葉で表し、相手の思いにも耳を傾けることの大切さをその都度知らせていくように努めた。 <p>*自分で考え、すすんで行動する子ども*</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に活動できる子どもをめざし、育てたい姿を明確にし、主体性を重視した日々の保育環境の工夫に努めた。 ・自由に使える素材や用具などの環境は整えることはできたが、用具や材料の工夫や量の確保に課題があった。 ・身近な自然や動植物などに接し、子どもたちの気づきや発見を保育に取り入れ、遊びを作っていたり、発展していったが、保育者自身が人的環境として感動体験の幅を広げる努力をすることで、遊びがより充実したものになっていくのではと考える。 <p>*特別支援</p> <p>特別に支援のいる子どもはないが、クラスの中で気になる子どもに対しては、園内会議等で職員間の共通理解を行い支援方法を探った。また、保護者との連携を密にし、ともに課題解決に向かっていった。</p> <p>*家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お便りやクラス便り、送迎時の連絡等で、日常的に情報交換に努めた。 ・年間行事予定表の配布などでお休みを計画的にとられる方もあり、参観日への参加率が高かった。 ・講演会の参加率は低かったこともあり、講演会の内容を周知し声かけをしながら協同子育てに努めたい。 ・こどもの様子を伝えるだけでなく、子育てにとって大切なことなど、園での生活の中で気付いたことを保護者と共に考え、解決をしていく体制をとる努力をしたが十分ではなかった。
--------------------	--

<p>④ 保育を支える 組織基盤</p>	<p>* 地域の子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰でも利用しやすい環境づくりはできている。 <p>現在は、支援センターに参加の方のみのサービスの提供になっているため、今後は地域の子育ての拠点施設としての役割を果たせるようにしていきたい。</p> <p>* 健康・安全体制</p> <p>安全管理マニュアルの整備はできている。また、職員にも周知されている。各クラスの目に触れやすい場所にマニュアルを掲示している。</p> <p>* 職員の資質向上</p> <p>園内研修の活性化に欠ける。各自が様々な課題意識を持ち望むことが大切。また、日々多忙で時間がとりにくい状況の中で効果的な園内研修の方法や時間の工夫を今後検討していきたい。子どもの状況から、背景や実態などを探り、問題解決に向けての取り組みがまだ不十分である。</p> <p>* 運営・管理・社会的責任</p> <p>保育者自身の人権感覚を研修で深める中で磨き、子どもの最善の利益を保障できるよう、今後も人権を大切にする保育に日々努めていきたい。連絡体制の対応はできている。</p>
--------------------------	--

2、今後に向けて

<p>今年度の評価・反省を踏まえて、新年度に向けて地道な取り組みを行う。PDCAサイクルを活用したカリキュラムマネジメント及び記録の取り方の工夫などを園内研修の内容や質を高め、質の向上に努めていきたいと思う。また、個々の自己評価が園全体の自己評価につながって行くので、その都度振り返りを行うことが大切であると痛感している。保育者一人一人が専門性を高め、園全体の質の向上に今後も努めていきたいと考えている。</p>
--

3、こども園関係者評価委員の評価

評価項目	評価
<p>教育・保育内容全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育・保育目標や目指す子ども像に近づく取り組みがなされているか 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの人数が減少している中、異年齢での活動があるのは良いことだと思います。 園庭での菜園づくり、自分たちで収穫した野菜を料理して食べるなど良い取り組みだと思う。それぞれのクラスで出来ると良いと思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・若桜の自然の四季を通じて色々な行事や取り組みがされていてとても良いことだと思う。 ・先生方の日々の努力は十分ですが、人員確保などの面が十分ではないと思います。施設面も同じことで行政への評価としてはどうかと思う。
<p>子どもについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気でいきいきとした姿で過ごしているか ・情緒も安定し、表情豊かに過ごしているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の登園で大きな声であいさつできるようになり、日々の言動・行動が年齢を重ねるにつれ向上していると感じます。 ・年長児を中心にしっかりと活動し、訪問時にもにこやかにあいさつや声かけをしてくれます。また、喜怒哀楽が分かりやすく素直に表現していると感じます。先生方との関わりが深い分そのような表現が出来ていると思います。 ・運動会や発表会などで集団としての行動、活動がしっかりと出来ていて素晴らしいと思います。子ども達の成長を感じられます。 ・異年齢児でのグループ活動や地域の方々と交流をしたりとたくさんの行事の中で子どもたちは楽しく過ごせているように思える。
<p>教職員について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに愛情と誠意をもって接しているか ・子ども一人ひとりの良さを引き出そうとしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が成功体験を味わえるよう寄り添い、励ます取り組みがされている。アンケートに反映されている。 ・保育の他に研修等、多忙な中対応できていると思う。 ・一人一人にかかわる時間が多く、しっかりと理解し受け止めての教育を実践されていると感じます。掲示物や作品であったり役割の与え方など日々の実践が多くみられます。 ・子どもの個性や成長に寄り添い、対応されていると思う。保護者アンケートでもその様子が伺える。
<p>地域、保護者との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や保護者から親しみやすい園だと感じられているか ・地域や保護者と連携がとれているかどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意識調査や評価に組ごとの集計をして、年度ごとの推計をみてはどうでしょうか。 ・アンケートに子どもの組（年令）が分かるように記載しておくのは、追跡評価も出来て良い案であると思う。 ・多くの保護者（祖父母）に参加していただき、しっかりと協力を得ていると思います。参観日など行事による公開もされており、連携をとるための情報共有が行われていると感じます。 ・地域活動にも多数参加して魅力のある園を発信していると思う。 ・園行事に多数参加があり、見守られている感じがする。

★その他の御意見

- 病後児保育の充実が出来るように町として連携して人員が増える体制がつくられればと思います。
- 行事を行うにしても子ども達の体調や天候等考慮しなければならないことが沢山あります。周りの見守りの体制の大切さを感じます。
- 園運営、保育環境に問題はないと思いますが、アンケートの設問に保護者から意見を聞ける機会が不足しているのかなと感じる。保護者会活動に対しても、双方で協力して時代に合った活動をしていくべきだと思います。
- 各組での保育の悩みや困りごとなど、職員間で共有する機会を作ることが大切。
- 先生方の働きやすさが、子どもへのよい影響となると思うので、ぜひ現状に対しての課題を伝えてほしい。こども園から小さな子供たちの元気な声が聞かれるのは町民の方の元気にもつながると思います
- 運動会、夕涼み会などの行事の手続きにおいて、保護者会の負担も大きく、役割分担の見直しが必要ではないかと思う。

教職員個々の自己評価、保護者アンケートの結果なども参考にした園の評価結果や評価委員さんによる園評価でいただいたご意見等を参考に、今後の園運営に生かしていきたいと思います。

令和2年3月9日

若桜町立 わかさこども園
園長 小林 宏 美